

入場無料・申込不要

どなたでもご参加頂けます

日本最高峰の富士山に降る雨や雪の一部は、「湧水」として、富士山麓の様々な場所に湧き出しています。この湧水は、富士山に生きる様々な動植物の「生態系」を維持するとともに、そこに暮らす人々の生活と深くかかわってきました。

山梨県側にある忍野村には、富士山を起源とする湧水池である天然記念物の「忍野八海」があります。富士山信仰の霊場や修験道者の禊ぎの場としての歴史をもち、富士山を背景としたすぐれた風致の「忍野八海」は、世界文化遺産富士山の構成資産として認定されています。今回のシンポジウムでは、この忍野八海を中心に、富士山全域の湧水の自然環境と、湧水のはぐくんできた歴史や文化について、様々な角度からスポットライトを当てたいと思います。湧水の起源はどのようにしてわかるのか？湧水の年齢は？富士山信仰と湧水の関わりや歴史的背景は？など、世界に誇る「富士山の湧水と文化」について、その価値を改めて確認し、どのように保全・利用していくかについて皆さんと一緒に議論します。

プログラム

- 講演 1**  **秋道 智彌** 山梨県立富士山世界遺産センター 所長
総合地球環境学研究所 名誉教授
富士山の湧水とコモンズ
- 講演 2**  **新津 健** 元山梨県埋蔵文化財センター 所長
遺跡と富士山信仰から見た忍野の水文化
- 講演 3**  **戸崎 裕貴** 産業技術総合研究所 地質調査総合センター
富士山の湧水の起源と地下水の流れ
- 講演 4**  **藪崎 志穂** 総合地球環境学研究所
忍野村の地下水・湧水の水質と地下水流動について
- パネルディスカッション** **忍野村の湧水と文化**

2018 年

日時

1 月 20 日 (土)

13:30-17:00 開場 13:00

会場

忍野村民ふれあいホール

〒401-0511 山梨県南都留郡忍野村忍草 1666-77

お問い合わせ先

忍野村役場 企画課

TEL 0555-84-7738 FAX 0555-84-3717

E-mail kikaku@vill.oshino.lg.jp

共催：忍野村・総合地球環境学研究所
後援：山梨県

忍野村公開シンポジウム

——忍野の水はどこから来たの？——

富士山の湧水と 忍野八海と 文化



富士山の湧水と文化：忍野八海

— 忍野の水はどこから来たの？ —



講演1 富士山の湧水と commons

富士山の湧水は、地域の生活、産業面で大きな恩恵を与え、水にたいする文化と信仰を育んできました。富士山の湧水は周辺地域だけでなく日本や世界にとり、共有財産（commons）としての意義をもつもので、その保全と次世代への価値の継承について考えます。



秋道 智彌

山梨県立富士山世界遺産センター 所長
総合地球環境学研究所 名誉教授

理学博士。地球研における「人と水」プロジェクト研究を踏まえ、富士山における湧水の自然・文化の統合研究を目指す。

講演2 遺跡と富士山信仰から見た忍野の水文化

富士北麓は、都と甲斐国とを結ぶ古代官道が走っていたことから人や文化の交流が盛んであり、富士山信仰の歴史を考える上でも大変重要な地域であります。忍野村にもこれらの問題を探る上で欠かすことのできない遺跡や信仰の場が多く残されており、今回は特に「水」に関わっての古代村落や富士山信仰に果たした水の役割を考えていきます。



新津 健

元山梨県埋蔵文化財センター 所長

山梨県考古学協会委員長、山梨県富士山総合学術調査研究委員会調査員。

講演3 富士山の湧水の起源と地下水の流れ

富士山の山麓には多くの湧水が分布していますが、流動してきた経路や時間などに応じて様々な特徴を持っています。水質や同位体を手がかりとした調査によってわかってきた、富士山全域における湧水の起源や地下水の流れについて、ご紹介したいと思います。



戸崎 裕貴

産業技術総合研究所 地質調査総合センター

産業技術総合研究所研究員。筑波大学助教などを経て2015年4月から現職。博士（理学）。専門は同位体水文学。地下水の流動や年代に関する研究に従事。水文・水資源学会国際誌編集委員、日本水文科学会編集委員。

講演4 忍野村の地下水・湧水の水質と地下水流動について

忍野村には忍野八海（湧水）のほかに、家庭で利用されている比較的浅い井戸水や水道水源を代表とする深い井戸水などが存在しており、それぞれ異なる帯水層の水であると考えられます。今回の発表では、忍野村で行った調査結果を元に、水質の特徴について示し、地下水の起源や流れについて紹介します。



藪崎 志穂

総合地球環境学研究所

博士（理学）。専門は同位体水文学。降水の同位体長期観測や、地下水流動研究に取り組む。主な著書に「地下水の水質と安定同位体の特徴およびその活用法」（高村弘毅編「地下水と水循環の科学」、古今書院）などがある。

パネルディスカッション

忍野村の湧水と文化

忍野八海をはじめとした忍野村の湧水の水質や水の起源、水と人との関わり、富士山信仰や水文化、忍野村の歴史などに着目しながら、忍野の水の現状と将来に向けての展望について討論します。

パネリスト



天野 多喜雄

忍野村長

平成27年8月、忍野村長就任し、現在に至る。名水の里忍野の由来を再確認し、それを後生に伝える。このシンポジウムがそのきっかけとなれば幸いです。



鷹野 慈誠

天台宗 東円寺 住職

富士山世界文化遺産協議会 作業部会委員、山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会委員、忍野八海まちづくり協会会長、忍野八海保存管理計画策定委員会委員、自然学園高等学校非常勤講師。



谷口 真人

総合地球環境学研究所 副所長

日本地下水学会会長、国際水文地質学会副会長、日本学術会議連携会員。専門は地下水学・地球環境学。主な著書に「地下水流動：モンsoonアジアの資源と循環（共立出版）」等がある。



陀安 一郎

総合地球環境学研究所 教授

博士（理学）。専門は同位体生態学・同位体環境学。元素の「安定同位体」を調べることによって、水や物質、生物の動きを見る研究を行っている。